

1 東京都専用線 深川線跡



大正12年(1923)の関東大震災後、東京港の建設が本格的に進められ、昭和16年(1941)に開港しました。あわせて港と鉄道を結ぶ交通網も整備されます。この貨物専用線跡は、昭和28年に整備された深川線のものでした。

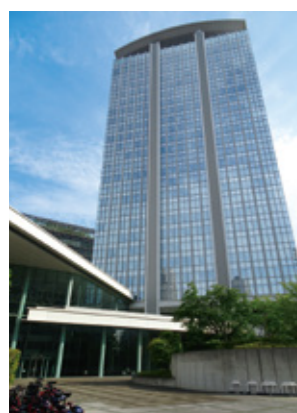
2 豊洲運河沿いの遊歩道



豊洲運河は、豊洲水門から東雲運河との合流点までの間をさします。豊洲側の遊歩道は開放的な水辺のまちとしての雰囲気を楽しむことができます。



3 i-muse(アイミュージズ)IHI HISTORY MUSEUM



明治9年(1876)、平野富二が石川島平野造船所を開いて以来、造船や機械、航空、宇宙などの事業を推進してきたIHIの企業ミュージアムです。会社の歴史やこれまで手がけてきた製品に関する資料を見ることができます。



IHIの歴史や技術を伝える開放的な空間になっています。

4 東京都専用線 晴海橋梁

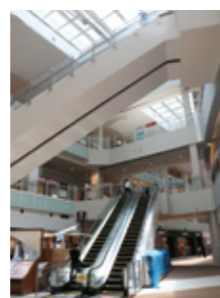


豊洲と中央区晴海を結ぶ東京都専用線晴海線の鉄道橋で、昭和32年(1957)11月26日に完成しました。平成元年の東京都専用線全廃をうけ、この橋も供用廃止となっていました。令和3年(2021)より整備が進み、令和7年(2025)、歴史的価値を残しつつ遊歩道として供用が開始されました。

5 アーバンドック ららぽーと豊洲



かつて石川島播磨重工業の造船所があった場所は、平成18年(2006)再開発によって新たな商業施設として生まれ変わりました。ドックからは水上バスも運航しており、夜にライトアップされるモニュメントのクレーンイルミネーションは必見です。



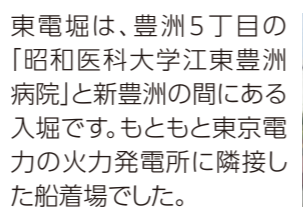
施設には、たくさんの店舗やレストランが入っています。

6 春海橋公園



春海橋公園は、アーバンドックパークシティ豊洲の大規模マンション、アーバンドック ららぽーと豊洲、豊洲公園、がすてなーにガスの科学館と一体的に開発された海上公園です。公園内には、かつてあった石川島播磨重工業の造船所を偲ばせるドックをはじめ、錨やクレーンなど様々なモニュメントがあります。

7 東電堀



クルージング用の豊洲ぐるり公園乗船場や水陸両用バス「スカイダック」用のスロープもあります。

昭和12年(1937)、東京湾の5号埋立地は「豊洲」と名付けられました。昭和・平成・令和と時代を重ねるごとに、まちの姿を変え、発展し続ける豊洲のまちなみをめぐります。

豊洲臨海エリア コース



Start! 豊洲シビックセンター

- 600m
- 1 東京都専用線 深川線跡
- 500m
- 2 豊洲運河沿いの遊歩道
- 600m
- 3 i-muse(アイミュージズ) IHI HISTORY MUSEUM
- 250m
- 4 東京都専用線 晴海橋梁
- 500m
- 5 アーバンドック ららぽーと豊洲
- 300m
- 6 春海橋公園
- 1400m
- 7 東電堀
- 850m

Goal! 豊洲シビックセンター

距離……約5km
目安所要時間……約150分



江東区文化観光ガイド

～区内のまちあるきガイドサービス～

- 通年お申込みいただけます。
- 原則として2名以上で、ツアー開催日の2週間前までにお申込みください。
- 参加費: 200円/1人

江東区文化観光ガイド事務局
受付時間: 9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
詳細はWebサイト「江東おでかけ情報局」をご覧ください。

江東おでかけ情報局

江東区文化観光ガイド事務局

